

「越中の小京都」に受け継がれる城端織物の海外展開・創出事業

概要

城端織物の伝統の職人の技と優美な絹織物、そして、城端の風土で育った繊維産業を守り、保存し、伝承していくことが重要である。残し伝えるべき伝統の「織物文化」と時代のニーズに相応しながら新たな繊維産業として発展し、地域を活性化する「繊維産業」を本事業で取り組んでいく。

このことから、担い手の育成を目的に美大生との交流会の開催や小学生を対象とした織物文化の勉強会及び織物体験を行い、また、時代のニーズにあったこれまでにない新しいデザインを求め、デザイナーとの試作に取り組んだ。それらの作品の展示会を「表参道スパイラル」で開催し、首都圏のバイヤーにアピールした。

富山県南砺市

城端小学生による工場見学



金沢美術工芸大学生によるデザイン企画提案



新ブランド「JOHANAS」設立



「表参道スパイラル」での展示会



事業の内容

- ・伝統工芸現状調査（課題整理）
- ・機織体験の開催
- ・金沢美術工芸大学生との交流
- ・新ブランドの設立
- ・「表参道スパイラル」での展示会
- ・販売戦略の検討

ポイント

- ◆ 担い手の育成
→ 工場見学や機織体験を通じての学び
- ◆ 新商品開発、販路開拓
→ デザイナー「TRUNK」との連携
→ 「表参道スパイラル」での展示会

総事業費

10.1百万円

事業の成果

城端織物海外展開
創出事業検討委員会

課題の洗い出し

- ・新しいニーズにあったこれまでにない新しいデザインの必要性
- ・織物文化を学び、担い手の育成

美大生との交流会

機織体験の開催

城端織物の
現状と課題

新商品開発・製作及び
展示会開催（東京）

- ・担い手の育成
- ・新しいデザインの伝統工芸品の誕生
- ・バイヤーへの販路開拓

今回の事業により海外展開へ近づく事が出来た。今後、フランスやシンガポールでの国際見本市に出展する。